

パラグラフライティングについて

1 パラグラフライティングの有効性

パラグラフライティングとは、1つの話題について書かれたパラグラフを組み合わせて、論理を展開していく文章技法である。

パラグラフライティングのメリットは、主張が伝わりやすいということである。パラグラフライティング形式の文章は、各段落の先頭文だけを読めば、重要な話の流れをつかむことができる。もしそれぞれの先頭文についてより詳細な情報を知りたいときには、その段落内を読めばよいのである。

2 全体構成

文章の最初を序論で始め、その後、各本論を書き進める。

序論・・・文章全体に書かれている内容がわかる。

本論1～・・・序論を説明する内容。

問題点、原因、対策、展望などが述べられる。

結論

3 段落の性質

(1) 1パラグラフには**1トピックスのみ**がある。

(2) パラグラフの冒頭にはそのパラグラフの要約（トピックセンテンス）が来る。

*トピックセンテンスとは・・・そのパラグラフを要約するものであり、書き手が一番伝えたい意見・考え・事実などが書かれる。

(3) トピックセンテンスの後にはそれを説明、補強するサポートセンテンスが来る。

*サポートセンテンスとは・・・トピックセンテンスで表明したことを詳しく説明する。理由や具体例などを挙げて、トピックセンテンスで書いたことを補強する。図、表、グラフなどはこの部分に含まれる。

(4) 各パラグラフのトピックセンテンスが論理的につながっている。

（トピックセンテンスさえ読めばレポート、論文の要旨が理解できることになる。）

4 パラグラフの作り方

(1) 序論を書く・・・文章で述べようと思うことを具体的に説明する。（2～3文）

例 ある事象を取り上げた

(2) 各論を書く

① 序論を説明するためのトピックセンテンス、5～6文を考える。

（これが各段落の最初の文となる）

② トピックセンテンス相互のつながりがわかるように接続詞を用いる。

③ トピックセンテンスを説明、補強するためのサポートセンテンスを2～6文書く。

【例文1】 『 』がトピックセンテンスである。

・序論

『私は、高校生に制服は必要ないと思う。』理由は以下の2点である。

・本論

『1つめは、服装は、自己表現の一つであるからである。』

具体例、自身の体験など

『2つめは、毎日の天気や気温に応じたものを着た方がよいからである。』

具体例、自身の体験など

・結論

『以上のように、高校生に制服は必要なく、着たいものを着るべきであるからである。』

【例文2】 『 』がトピックセンテンスである。

・序論

『①国語の読解力をつける方法は様々であるといわれている。』例えば、漢字や言葉を身につけること。音読すること。本をたくさん読むこと。要約文を書くこと。ちまたにあふれる参考書を開けば様々な方法が紹介されている。

・本論

『②読解力をつけるために最も必要なことは教養をつけることである。』国語の読解問題で出題される文章のテーマは多方面にわたる。例えば、科学、芸術、哲学、国際社会、情報などである。これらについて一般常識とされる内容、現在において話題になっていることなどを知識として有していなければ、これらを専門的に論じた文章を読解することは難しい。

『③これ以外に必要とされるのは、文章を論理的に読み解く力である。』私たちにとって日本語は母語であるため、論理的な構造を学習しなくてもかなりの程度までは理解可能である。しかし、未知の内容を、一般性を持たせた抽象的な文章から理解するとなると、文章構造から考えて主張を読み取ることが必要となる。例えば、〔この部分には「…にちがいない。」という強調表現が使われているから筆者の主張が述べられている〕といった理解の仕方、あるいは、〔この部分は二つのものが対比されており、対比の後半に当たる部分が主張となる〕という理解の仕方である。

・結論 まとめや展望

『④この2つを総合的に身につけるためには、新書を読むとよい。』様々な出版社が、様々なテーマの新書を多数出版している。大学教員や著名人がその道の入門書として執筆することが多い。これを読み飛ばすだけでもかなりの教養を身につけることができる。そして、この中の、ある一章、あるいは、ある一節を文章の論理的構造を意識して精読することで読解力は飛躍的に高まるであろう。

<練習問題 1 >

下記の文章は1文ごとに改行しているのですが、パラグラフの切れ目がわかりません。そこで、文章の内容から考えて、パラグラフに切れ目を入れなさい。

- ① バブル崩壊後年功序列型賃金制度が総人件費の高騰で維持しきれなくなりました。
- ② 仮にベースアップを0にしても、定期昇給だけで人件費は高騰し続けます。
- ③ 競争力のある分野に絞り込んだ結果、高い給料のわりには戦力にならない高齢者もいます。
- ④ 結果として、年功序列型賃金制度を維持していたのでは、総人件費が会社の経営を圧迫してしまいます。
- ⑤ そこで、総人件費を減らすために、多くの企業が成果主義を導入しました。
- ⑥ 限られた原資（総人件費）を分配するのに、実績に応じて配分するのが最も従業員の士気を高めると考えられたからです。
- ⑦ 現在、年商100億円以上の企業では、8割以上が何らかの形で成果主義を導入しています。
- ⑧ 中小企業でも、6割が成果主義を一部導入しています。
- ⑨ しかし、その成果主義にも問題が出てきました。
- ⑩ まず、公平な評価が難しいため、評価不満を持つものが増えました。
- ⑪ 成果として直接認められる仕事を優先し、部下育成のような目標設定にはない仕事を軽視するようになりました。
- ⑫ 目先の目標達成にばかりに目がいき、チャレンジもしなくなりました。
- ⑬ そこで、この問題に対して、成果主義に修正を加える動きも出てきています。
- ⑭ S商事では大卒の基幹職に関しては、入社後10年間は昇格に個人差をつけないように変更しました。
- ⑮ K製薬会社は人事評価の尺度に「後輩育成」を導入しています。
- ⑯ F電機は個人目標の達成度に加え自分の部署への貢献度も評価するように変更しました。

<練習問題 2>

1 次のテーマについて、あなたの考えを3～4文のトピックセンテンスで、表しなさい。

テーマ『 _____ 』

①
②
③
④

2 1で書いたトピックセンテンスのそれぞれについて、2～3文のサポートセンテンスを書き、レポートを完成させよ。(トピックセンテンスも書くこと)

①
②
③
④